北本市国民健康保険事業特別会計 将来推計(R7納付金本算定結果反映)

議題(2)協議事項 ウ

資料5-3

※改定案による試算

【参考】令和6年度当初予算 ※概数で積上げのため誤差があります

※概数で積上げの/	この誤差かめります。
保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等
その他支出	保険税滞納繰越分 2,900万円
その他 4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額
納付金 16億4,800万円	7,700万円 財政安定化支援 2,300万円
	保険税 現年課税分
	11億1,100万円
	保険基盤 2億3,400万円
	不足額 2億2,000万円
16億9 400万円	16億9 400万円

16億9,400万円 16億9,400万円

※基金繰入 2億2,000万円を充当

令和6年度予算執行見込(1月)

※概数で積上げのため誤差があります。		
保険給付費 (療養諸費等)	普通交付金	
保健事業費 (疾病予防)	特別交付金等	
その他支出	保険税滞納繰越分 2,900万円	
4,600万円	特別交付金のうち 納付金への充当額	
納付金16億4,800万円	7,700万円 財政安定化支援 2,300万円 保険税 現年課税分 11億1,100万円	
10 IB 170 007 31 3	保険基盤 2億3,400万円 前年度繰越金 1億300万円 不足額 1億1,700万円	
16億9,400万円	16億9,400万円	

※基金繰入 1億1,700万円を充当

税率	医援	分	支援	设分	介護	分	討	_	一人当たり
1九二十	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	所得割	均等割	保険税額
R6年度	7.30%	29,900円	2.90%	10,200円	2.20%	14,700円	12.40%	54,800円	96,609円
改定税率案	7.30%	38,900円	2.80%	13,500円	2.20%	16,100円	12.30%	68,500円	109,175円
差	0.00%	9,000円	-0.10%	3,300円	0.00%	1,400円	-0.10%	13,700円	-
【参考】R7年度市町村村	標準保険税率の	の算定結果							
秋の試算	7.38%	45,008円	2.64%	15,848円	2.31%	16,640円	12.33%	77,496円	-
本算定結果	7.40%	45,380円	2.70%	16,285円	2.23%	16,033円	12.33%	77,698円	_

※改定税率案は「秋の試算」の結果を基に算定しています。

7年度	令和

令和7年度			
その他支出 3,900万円	特別交付金のうち 納付金への充当額		
	7,100万円 財政安定化支援 2,400万円 保険税滞納繰越分 2,500万円		
<u>【本算定】</u> 納付金	保険税 現年課税分 【改定後】 12億1,200万円		17億
16億7,000万円	保険基盤【改定後】 2億8,200万円		17
	不足額 9,500万円		
17/6000下四	17/6000下皿		17/

17億900万円 17億900万円

※基金繰入 9,500万円を充当

18年度

その他支出	特別交付金のうち
3,800万円	納付金への充当額
	7,100万円
	財政安定化支援
	2,300万円
	保険税
	現年課税分
	【改定後】
納付金	11億9,800万円
44.1 A <u>277</u>	111思9,000/10
	保険基盤【改定後】
17億1,200万円	2億7,800万円
	2/8/7/000/313
	不口疳
	不足額
	1億8,000万円
	4.1

17億5,000万円 17億5,000万円

※基金繰入 1億8,000万円を充当

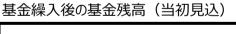
令和9年度

137日2十/文		
その他支出 3,700万円	特別交付金のうち	
3,700/1⊟	納付金への充当額 7,100万円	
	財政安定化支援 2,200万円	
納付金 <u>17億5,500万円</u>	保険税 現年課税分 【改定後】 11億8,400万円	
	保険基盤【改定後】 2億7,400万円	
	不足額 2億4,100万円	
47/2000000000000000000000000000000000000	47/60 200下円	

17億9,200万円 17億9,200万円

※基金繰入 2,500万円を充当

実際の不足額 2億1,600万円



1億8,000万円

基金繰入後の基金残高(執行見込)

3億円

9月見込2億9,000万円→1月見込3億円に

基金繰入後の基金残高(見込)

2億500万円

【検証】

基金繰入後の基金残高(見込)

2,500万円

基金繰入後の基金残高(見込)

0万円

※試算条件

・令和6年度は当初予算額を基に、1月時点の執行見込額を概算で示し、年度末の基金残高見込額を示すもので

【参考】

・被保険者数を毎年1.1%減少で見込んでいます。 (埼玉県運営方針(第3期)のR4→R11の平均減少率による。

本改定案の場合、令和7年度当初予算は保険税・基盤安定の計が現行税率に比べ、約1億4,200万円の増収、基 金残高2億500万円の見込となるほか、令和8年度当初予算の編成も可能、基金残高は秋の試算時の5,000万円 から2,500万円に減る見込みとなるが、不測の事態に備えるため一定程度蓄える範囲の値と考えられる。

- ・令和7年度は当初予算見積額を基とし、令和8年度以降の「その他支出」、「財政安定化支援」、「保険税現年課税分」、「保険基盤」は、前述の減少率1.1%を用いて算出しています。
- ・令和7年度納付金は本算定結果を置き、令和8年度以降の納付金の一人当たりの伸び率を、医療分+4.094%、支援分+4.533%、介護分-3.530%として算出しています。(納付金実績平均伸び率R4→R7より)
- ・保険基盤は産前産後保険税減額分を含めず算出しています。